

最近の街歩きの楽しみは着物姿の人を探す事。

年配の女性の着物姿は凛としている感じで素敵な方が多いですね。

若い女性の着物姿はとにかく華やかな感じ、まだ着物姿が板に付いてなかったりする所が初々しい感じになっていて新鮮です。

時折、男性の着物姿も見かけるようになり男前に感じられてちょっと得した気分になります。

着物の魅力に目覚め「着物を着たい！」の一念で着付け教室に通い、何とか自分で着られる様になり着物歴はもう5年程になりました。

人によって様々でしょうが着物を着る様になって和裁や日本刺繍を習い始めたり、螺鈿や組紐、絞りなどの工芸品に興味を持つ様になったり、沖縄や米沢、小千谷など染織の盛んな地域に旅に出たり、歴史ドラマの着物に関心を持ったり、と和の文化へ傾倒していきます。

今回ご紹介するのはそんな大いなる興味を持って着物を楽しんでいる方にとって注目すべき作家3名です。

着物は今回がアゲルでは2回目のご紹介になる京都の川村成さん。国展の入選が6年続いている京都の若手の染織作家です。

今年の入選作品は去年の作品とは打って変わったシックな色合いの着尺でしたが、そこは織りの技術をしっかりと作品にしたいという川村さんの想いが形になっています。

今回は木綿を中心に紬の着物やアジアの木綿を使った名古屋帯や半幅帯など多彩な作風が揃います。お楽しみに。

履物はずっとその出会いを待っていた手作りの鼻緒を作っている大阪の佐藤秀子さんです。

下駄は勿論、草履もデザインし、オリジナルを作っています。

酒袋を白漆で塗装した草履は本当に素敵です！

履きやすさを考えたデザインは工房にお伺いした際にその出来上がりまでの工程を説明して頂き、履き心地とお洒落感を考えて手をかけて作っている事が判り、嬉しくなりました。

鼻緒は古布の和更紗を使ったりアンティークのリボンを使ったりととてもお洒落です。

今回は9月2日、3日と在廊してその場で鼻緒を挿げます。こちらもお楽しみに。

最後は巻物のリボン織りの中島いつこさん。

先日電話した時は丁度今回の為に籠バッグにする山ぶどうを採りに山に入っていた時でした。

その時に採取した山ぶどうとリボン織りの籠バッグがお目見えしますよ！

リボン織りは色重視で織りが単調なもののように思っていたのですが、中島さんのリボン織りはアンティークのリボンや糸、裂き織りの布などが不規則に織り込んでいて、独特な表情があります。

今回はリボン織りの帯、ショール、籠バッグなどを中心に発表します。お楽しみに。

中島さんも9月3日は在廊します。

着物を着る事で広がる美しい世界をAgerでどうぞ体験下さいね。

ぜひ、お着物でお越し下さい。お待ちしております。

いぶしろん 舟見優子

和姿秀麗

2014年9月2日(火)～9月27日(土)

着物/川村成 木綿や絹の着尺、帯

履物/佐藤秀子 草履、下駄、手作り鼻緒

巻物/中島いつ子 リボン織りの帯、籠バッグ

作家在廊日/9月2日(火)3日(水)佐藤秀子/鼻緒選びのアドバイス、その場で挿げます。

9月3日(水)中島いつ子



craft Ager

札幌市中央区北3条西1丁目 開運ビル3F

☎011-251-3390

定休日/毎週日曜・月曜

営業時間/11:00～19:00